

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【カンボジア】

- ◆2018年11月26日（月）～30日（金）
- ◆カンボジア・プノンペン市 国立カンボジア工科大学（NPIC）
- ◆電工 デモンストレーション+技能評価トライアル

2018年11月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2018年11月26日(月)～30日(金)
 (実施場所) カンボジア王国・プノンペン市
 国立カンボジア工科大学(NPIC)
 (職種) 電工 デモンストレーション+技能評価トライアル
 (講師) 木下 富博氏、川下 政彦氏(株式会社きんでん)
 (参加者数) 受講者10名(トライアル時:受検者4名 評価者6名)

(実施日程)

日時	活動名(指導内容)
11月26日(月) 09:00～16:30	開講式 【デモンストレーション】 ① デモンストレーション(1)(2h) ② デモンストレーション(2)(1.75h)
11月27日(火) 09:00～16:30	【デモンストレーション】 ① デモンストレーション(3)(2h) ② デモンストレーション(4)(2h) 【技能評価トライアル準備】 ① 工具、材料、器具チェック、会場準備
11月28日(水) 09:00～16:30	【技能評価トライアル準備】 ① 実技試験説明 【技能評価トライアル】 ① 実技試験(1)(1.0h) ② 実技試験(2)(2.0h) ③ 実技試験(3)(2.0h)
11月29日(木) 09:00～16:30	【技能評価トライアル】 ① 実技試験(4)(2.0h) ② 実技試験(5)(2.0h) ③ 実技試験(6)(1.0h)
11月30日(金) 09:00～16:30	【技能評価トライアル】 ① 採点 ② 評価者ヒアリング ③ 講評、評価 閉講式

2. 講評

◆ 総評

私自身2度目となるこの事業では、前年度と比べ技能・知識の向上が感じられた。5日間の研修では、デモンストレーションと競技トライアル方式で競技運営や評価方法の習熟を行った。

デモンストレーションでは、解説をすると多くの質問を受け熱心に見学していただいた。前回でも感じたことだが、学ぼうとする意欲は強いものを感じる。競技トライアルでは受検者が安全・公平に作業ができるように運営するポイントを、評価では、公平・透明性のある評価方法を説明し理解してもらった。

研修中は自分の役割に責任を持ち、積極的に取り組んでいたのが印象的だった。来年開催されるカンボジア国内競技大会で、今回の研修の成果が出せることと確信している。

(木下専門家)

今回の派遣において、受講生の真剣な眼差しを感じる事ができた。我々の説明を聞く態度やそれを実践しようとする態度には見習うべきものがあると感じた。また、作成された課題を公正かつ公平に採点および評価しているように見受けられた。前回よりも技能のレベルも向上していると聞いており、次回以降の成長が楽しみだと感じた。しかし、新しい機器やシステムへの対応は早いものの、肝心の電気工事の基礎が身に付いていないように感じられ基本技能の向上ができるカリキュラムも取り入れられればと感じ次回の課題としたい。

今回の派遣で、競技大会の技能向上および評価能力の向上が図れたと感じた。

(川下専門家)

3. 受講生へのアンケート結果

◆ 受検者4名（回答者4名）

満足度	：大変満足=3名 満足=1名	満足度	100%
役立ち度	：大変役立つ=3名 どちらともいえない=1名	役立ち度	75%
継続性	：是非継続すべき=4名	継続希望度	100%

【意見・感想】

- ・手順が良かった。
- ・将来的に良い検定試験と評価者が育つために、素晴らしい経験と実技の訓練を積むこと。
- ・素晴らしい時間、ワークショップ、専門家であった。
- ・カンボジアの人材育成のため今後もこのようなコースを続けてください。(2件) また、新しい技術の研修コースを開催していただきたい。
- ・このコースを再度開催してほしい。

◆ 評価者 6 名（回答者 6 名）

満足度	：大変満足=4名 満足=2名	満足度	100%
役立ち度	：大変役立つ=4名 役立つ=2名	役立ち度	75%
評価者能力向上度	：大変向上した=5名 向上した=1名	工場度	100%
継続性	：是非継続すべき=5名 継続すべき=1名	継続希望度	100%

【意見・感想】

- ・日本の支援と先生方に御礼申し上げます。
- ・配線関連のコースを実施してほしい。
- ・素晴らしい知識と経験に触れることができ、とても興味深いワークショップだった。来年度、更に技術を教授していただきたい。
- ・今後もこのような研修があるならば、木下先生、川下先生のような素晴らしい先生方をお願いいたします。

以上